

長期化するコロナ禍の子ども・大人の状況

- ・これまでも感染対策をするよう言われているけど、感染するかも…
- ・オンライン…分断されている感覚
- ・余白がない・表面的・頭でっかちなかわり
- ・相手にどう受け取られたか実感もてない

- ・外にいる時は、マスクしなくちゃ
- ・黙食でも友だちと会えるから、良いか。
- ・友だちと遊べないけど、ゲームやネットがあるし…。
- ・行事もないけど、仕方ないか。
- ・大人は忙しそうだし、聞いて！って言いにくいな
- それが「普通」になっている印象

・子どもは、発達に必要な体験ができています？ 大人の揺れを見ている？

・不安感がつり、人との関わりを持って良いのか？ 距離感などの感覚の麻痺？ 思いやり（間）の持てなさ？ 対人関係の希薄さ。

→ 孤独な感覚、五感を使えなくなっているのではないかな？

ひろしま災害後のこころの支援勉強会 令和4年2月13日
第8回公開セミナー

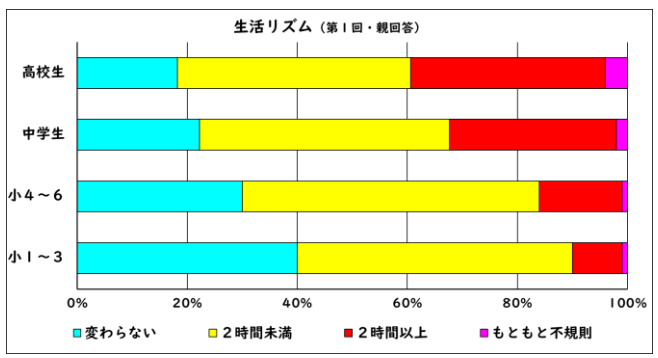
『今、私たちが体験していることは
～支援者として大切にしたいこころの視点～』
～支援者に必要な姿勢や視点とは～

長期化する新型コロナウイルスの感染状況で、 コミュニケーションについて考える

発表者 湊崎和範
岡田 緑
大原一祐

生活リズム (第1回・親回答)

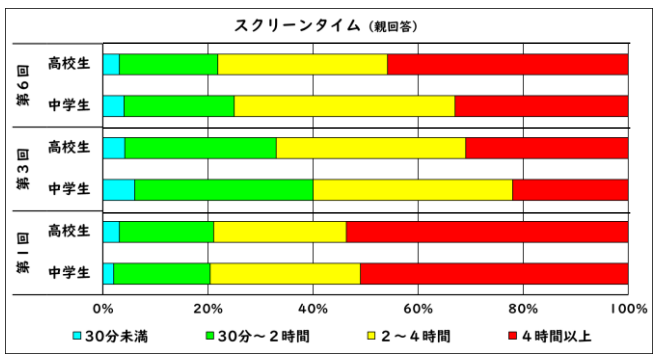
(コロナ×こどもアンケート 国立成育医療研究センター)



第1回：2020年4・5月 *学校の休校期間中

ゲーム・スマホなどの使用時間 (親回答)

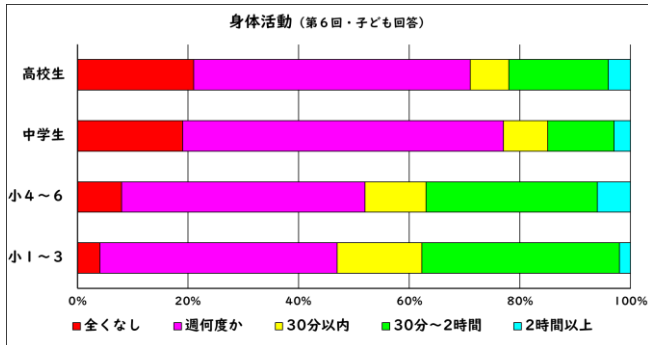
(コロナ×こどもアンケート 国立成育医療研究センター)



第1回：2020年4・5月 第3回：2020年9・10月 第6回：2021年9月

身体活動 (第6回・子ども回答)

(コロナ×こどもアンケート 国立成育医療研究センター)



第6回：2021年9月

* 体育やクラブ活動を含む

病院の子どもたち

(アンナ・フロイト著作集 第8巻)

- * 慢性疾患の子どもの面倒をみるとき；
子どもも大人も、外傷的状況下で長く過ごすとき、人間はそこに存在する事態に適応してしまう
- ・危険が増加し苦痛や不安や不快が高まった時も同様
- * 大人は、幼児が苦しい目にあって、怒り、苦痛に敢然と対抗することを期待するが、
良くない経験が、子どもにとって“正常な”生活の一部となり、当然のここのように処理されていく

ことばやコミュニケーションの発達を考える

- * 0～2歳台の子どもたちは、外で出会う大人はマスクをしているのが当たり前の中で育っている
↓
- ・ことばの発達には、音声を聞く、口の動きをマネする、相手の表情や視線などを読み取ることが大切だが、マスクで、いずれも難しい状態（接触を避けることも影響）
→ 保育園で、反応の乏しさ、話す歌うことが減少
お友達関係が発展しにくい
- ・顔と表情を区別する能力 → 相手の気持ちを理解する能力
⇒ ことばをはっきり・ゆっくり、大げさな感情表現

社会的コミュニケーションの問題

- * 自閉症児の社会的コミュニケーションの問題；
- ① 社会性の障害
→ 表情が読めない、他人への興味↓、一人遊びなど
- ② コミュニケーションの障害
→ ことばの遅れ、人との会話を避けるなど
- ③ 常同反復行為（こだわり）
→ 過剰な手指消毒、マスクが外せないなど
- 空虚感や、孤独な感じ、先がみえない不安、抑うつ的
- * こころに寄り添い、そばに居ること

私たちはどうすべきか

(ニック・ミッジリー)

- * 「**子どもの皮膚の中に自分の身を置き、子どもが考えるように考え、子どもが感じるように感じてみる**」 (Goldstein)
- * 家庭、学校、地域などで、**社会が子どもたちの体験している事柄に盲目になる**大きなリスクのある環境場面を意識
- * 内的外的な危険に、言語化やある解釈が役立ちそうでも、解釈が“正しい”からではなく、子どもにとって、一人の大人が**自分の体験を理解しようと純粋に関心を向けてくれている**という体験 (メンタライズされる体験) が大切

大人たちに伝えたいこと (第6回・子ども回答)

(コロナ×子どもアンケート 国立成育医療研究センター)

- ・ 小学校6年の卒業式から今まで制限ばかりで疲れた (中2女)
 - **小、中、高、大学生、社会人の1・2年生は、顔もわからない?**
- ・ 学校で普通に話したり遊んだりしたいです。放課後も友達と遊んだりしたいです (小6男) → **子どもは遊び(間)が必要**
- ・ お母さん、お父さんに、**最後まで話を聞いてほしい。**
最後まで聞かずに大人が結論を出さないでほしい (小4男)
 - **子どもは、家庭の中でコミュニケーションを求めている**
- ・ 学校の先生。コロナ感染予防で静かにしろと言うくせに、自分はマスク外して大声で喋るのはやめてほしい (小6男) → **子どもは見ている**
- ・ **未来のある若者を優先しない理由を知りたい** (高2男)
- ・ 学校の先生にありがとうと伝えたい (小4男)
- ・ 医療従事者の方に感謝したい → **大人の頑張りも見ている**
- ・ パパに遊んでくれてありがとう。ママにずっと一緒にいようね (小1男) → **家族に抱えられ、見守られている安心感**

(黄色の網掛けは、アンケートから考えたことなど)

支えてくれたもの (第6回・子ども回答)

(コロナ×子どもアンケート 国立成育医療研究センター)

- ・ お父さんとお母さんと一緒にいると安心する (中3女)
- ・ 友達・恋人 (高2男) → **安心感・安全感の必要性**
- ・ **ネットの友達** (高2) ・ **iPad、PC** (小3男)
 - **SNSやバーチャルな世界に注目しがちだが、誰かとつながっている感覚に助けられている面もある**
- ・ コロナ禍でも学校行事を工夫して開催してくれた (中1女)
 - **非日常の体験、終わりと始まりの大切さ**
- ・ コロナが流行っていても気をつけて普段通りの生活すれば良いという考え方 (小1女) → **大人も気持ちに余裕を**
- ・ 「たんたん」と暮らしていくと良いよというアドバイス (高2男) → **大人のプレなさ**

(黄色の網掛けは、アンケートから考えたことなど)

児童憲章 (抜粋)

(1951年5月5日制定)

- * 児童は、人として**尊ばれる**
 児童は、社会の一員として**重んぜられる**
 児童は、よい環境の中で**育てられる**
- ・ 適当な栄養と住居と被服が与えられ、また、**疾病と災害からまもられる**
- ・ すべての児童は、**個性と能力に応じて教育され、…**
 ……**十分に整った教育の施設**を用意される
- ・ **よい遊び場と文化財**を用意され、悪い環境から**まもられる**
- ・ 虐待・酷使・放任その他**不当な取扱**から**まもられる**
- * 児童憲章は、子どもに対しては「**君たちは社会の中で尊重されているのだよ**」ということを知らせつつ、主に子どもを取り巻く**おとなと社会に向けたもの**

ソーシャルディスタンス

(子ども白書2021)

「ソーシャルディスタンス」
と、ぼくがお母さんに言うと、
お母さんは、引っついてきます。
ぼくが、
「みつみつみつ!!」
と言うと、お母さんはチューをします。
やっぱり好きなんですか？
ぼくのこと。

(遠藤大覚 高知県高知市立一ツ橋小学校 5年生)

参考資料

- ・子ども白書2021 日本子どもを守る会
- ・コロナ×こどもアンケート 国立成育医療研究センター
- ・アンナ・フロイト著作集 第7・8巻
(ハムステッドにおける研究・上下) 岩崎学術出版
- ・「子どものアドボケイト(権利擁護者)としての
アンナ・フロイト」 ニック・ミッジリー 講演
- ・生い立ちと業績から学ぶ精神分析入門
乾 吉佑 創元社
- ・精神分析家の生涯と理論 岩崎学術出版

まだコロナは流行中だけど、
少し先のことも考えて、
準備していくことも大切！！